

## 学 識 経 験 者 の 意 見

名古屋芸術大学人間発達学部講師 伊藤孝照

### 1 教育委員会の活動状況について

蟹江町の政策方針の下、教育委員会会議や活動、事業が適正・着実に実施されていることを高く評価したい。今後も、各活動や事業に対して点検・評価を重ね、より効果的に取り組み、蟹江町の教育の充実・発展を図られることを望む。

### 2 教育課の事業について

学校経営について、校長の学校経営方針に基づき、自己評価をもとにした改善策をとりながら進められ、学習指導要領による教育課程を適切に実施していることは、評価に値することである。教育課程の実施状況では、標準時間数を確保し適切に実施されているが、昨年も述べたように学習の成果と課題を明らかにするとよい。

特別支援教育においては、法改正を受けて町独自の支援員を配置する等、即刻に適切な対応がなされておりすばらしい。

生徒指導に関して、不登校、いじめ、暴力行為が前年より減少傾向にあることは、学校が教育委員会や関係機関との連携・協力をすることによって問題の早期発見・早期対応に努力してこられた成果である。なんといっても生徒指導で最も大切なことは、児童・生徒が学校の学習（授業）に満足しているか、授業中や部活等で存在感を持っているかということである。各教師が明日の授業の教材研究をしっかりと児童生徒が満足する授業を行うとともに、校内研修で授業力を高め合うことを望みたい。

学校への人的支援について、中学校において教師の授業力を高める研修の時間を確保するために、部活動の支援ボランティアを募り支援してもらってはいかがであろうか。また、小学校の学習支援ボランティアとして、退職教員をTT指導授業のT2の役割を担ってもらってはいかがであろうか。そうすれば退職教員も仕事ができやりがいを感じ、児童にも効果があると思う。

### 3 生涯学習課の事業について

生涯学習に関わる多くの事業や活動が企画運営され、すばらしい。しかし、家庭教育講座の充実を望みたい。今開設されている講座のほとんどが親子の絆を目的としたものであって、乳児・幼児の子育てについての内容ではないように思う。核家族がほとんどの現代、子育てに悩む親が多いと思う。若い親が家庭教育について学ぶ場ができるだけ多く設定されるとよいと思う。

図書館については、設備が充実し本に親しむための様々な活動が行われておりすばらしいことである。「おはなしのじかん」「わらべうた講座」「おはなしたまたまばこ」等、子どもたちにとって有意義な場がたくさん設定されている。できれば、学校ごとにボランティアの読み聞かせの会ができて（図書館から出張でもよい）、子どもたちにとって身近な学校でも行われるようになるとよいと思う。